

おりひめちゃんが行く！

交野戦国絵巻 一の巻

今回から、戦国時代の交野を中心に、市内の文化財をご紹介します。
問い合わせ 社会教育課文化財係(TEL 893・8111)



※ここは私有地のため、立ち入ることはできません

難攻不落の私部城

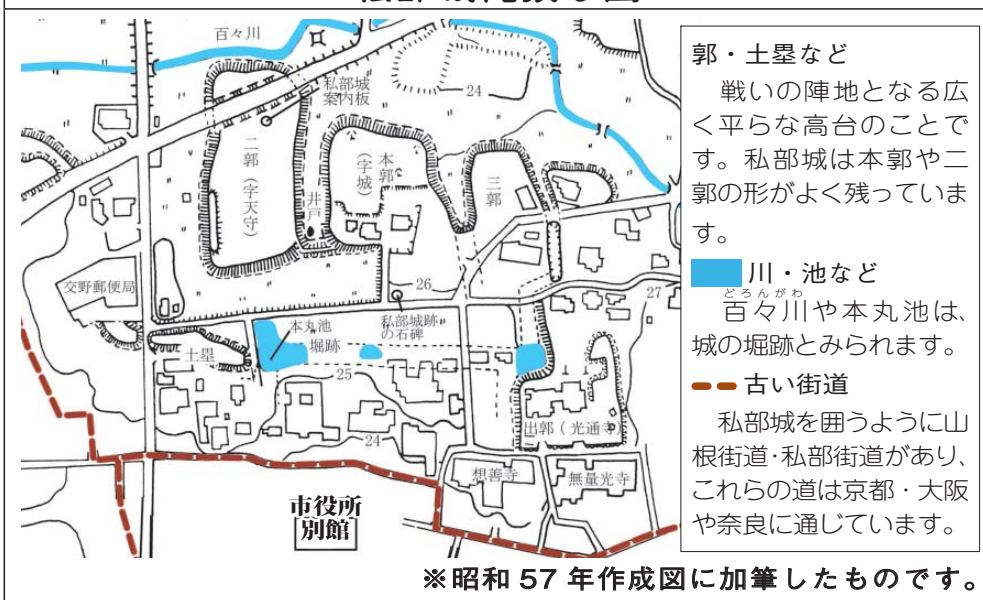
市役所の北、交野郵便局の東に戦国時代の私部城の城跡があります。

一段低いところにある田や畑は、城を守った堀の跡で、田畑に囲まれた小高い山は郭と呼ばれる陣地で、ここに建物が建っていました。最もよく残っている本郭(上写真)は、城の中心部でした。現在の大阪府内で、平地に作られた戦国時代の土の城跡がここまで残っていることは、奇跡的だと言われています。

守りの弱い平地にありながら、地形を巧みに生かして城が築かれました。奈良や手の中に収めていた松永久秀の猛攻をしのぎ、織田信長軍が河内・摂津に進出する際の拠点となりました。

戦乱の時代の中で、落城したという記録がなく、正に難攻不落と言える、守りの固い城でした。

私部城縄張り図



土の城と石の城



おりひめちゃん
の歴史コラム

「城」という漢字は、「土が成る」と書きます。戦国時代には、私部城のような土の城が多く築かれました。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」に登場する、若き日の官兵衛が暮らす姫路の城にも、石垣に囲まれた天守の姿はまだありません。

大坂城や現在の姫路城のような石の城は、織田信長が天正4年(1576年)に建てた安土城をきっかけに広まっていきました。

